

2020 年度「乳の学術連合」学術研究

「牛乳乳製品健康科学」 学術研究の公募

「牛乳乳製品健康科学会議」は、一般社団法人 J ミルクと共同して、「牛乳乳製品の価値向上に繋がる医学・栄養学・食品科学・体育学等の分野の課題」に係る学術研究を公募します。

申請締切日 **12/31**^火
2019年

募集研究テーマ

1 牛乳乳製品が免疫機能に及ぼす影響に関する研究

牛乳乳製品あるいはその成分の免疫機能に及ぼす影響に関する基礎的・臨床的研究。特に、今回は下記 2 テーマを重点課題として取り上げる

- 牛乳乳製品あるいはその成分が腸内環境や腸管機能に及ぼす影響に関する基礎的・臨床的研究
- 牛乳アレルギーの予防・改善に関するこれまでの臨床的研究を体系的に整理し、ガイドライン作成に寄与する実践的研究

キーワード：腸内環境、腸内菌叢、腸管機能、抗炎症、アレルギー、免疫機能調節、免疫指標、自然免疫、免疫寛容、免疫不全、感染防御

2 牛乳乳製品が加齢に伴う栄養代謝に及ぼす影響に関する研究

低栄養（フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドローム）、過栄養（肥満、メタボリックシンドローム、糖尿病）、高齢者に特徴的な疾患（認知症など）に関する疫学研究、基礎研究、介入研究

特に、今回は下記 2 テーマについて重点課題として取り上げる

- 牛乳乳製品摂取とフレイル・認知症との関連性
- 牛乳乳製品の摂取が運動による各種の代謝マーカーやバイオマーカーの変化に及ぼす影響

キーワード：フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドローム、認知症、肥満、メタボリックシンドローム、糖尿病、マイオカイン、ホルモン、炎症性サイトカイン、ストレスマーカー、身体活動、QOL

3 牛乳乳製品に関わる新規探索研究

牛乳乳製品の価値向上につながる牛乳乳製品が健康に及ぼす影響に関する基礎的、臨床的新規探索研究

※上記テーマへの申請のうち 10 件程度を採用します。

募集要項

応募資格 研究者ないし研究グループ（大学院生を含む）。

委託研究費 年間 1 件当たり原則として 150 万円（税込）以内とします。

委託研究期間 原則 1 年間。研究内容によっては最長 3 年間とします。

選考方法 選考委員会が、必要に応じて各分野の専門家の意見を参考とし、審議決定します。

選考委員会（委員は五十首順）

委員長 折茂肇（公益財団法人骨粗鬆症財団 理事長）

委員 上西一弘（女子栄養大学栄養学部
栄養生理学研究室 教授）

岡山明（一般社団法人 適塩・血圧対策推進協会
代表理事）

大日向耕作（京都大学大学院農学研究科 准教授）

小川純人（東京大学大学院医学系研究科 准教授）

川原貴（一般社団法人日本臨床スポーツ医学会 理事長）

桑田有（人間総合科学大学大学院 教授）

齋藤忠夫（東北大学 名誉教授）

清水誠（東京大学 名誉教授）

下条直樹（千葉大学大学院医学研究科小児病態学 教授）

中村丁次（神奈川県立保健福祉大学 学長）

